



「大切にしたいこと」



理事 堀内 由紀

今期より理事を務めさせていただいております。未熟で不慣れな私が、巻頭の「路」に寄稿する事となり、背筋が伸びる思いと共に、難しい課題提出を抱えた学生の様に何も出来ずに時間だけが過ぎていきました。

人生を「路」に例えるなら、私はまだまだ「路」半ばで、人に誇れるような事は何も成し遂げていないのですが、今の保育園との出会いは生まれてすぐからとなります。

私が生まれてすぐに、祖母が今の保育園の前身である、「和敬赤ちゃんの園」を立ち上げました。「60歳を契機に事業の一切を捨て、働くお母さんの為に一身を投じる」。明治生まれの祖母が次世代の女性の為に、自分が許されなかった「女性の学びと就労」を保障するという強い思いが込められています。よちよち歩きの私はそんな祖母を見ながら育ち、保育園の子ども達とともに生活し、保育園の先生達に育ててもらいました。祖母も母も仕事で忙しくしていましたが、保育園の先生達が、我が子の様に可愛がってくれましたので、寂しい思いは少なかったように思います。私だけが特別だったわけではありません。卒園児が訪ねてくるたびに、我が子の様に受け入れ、相談に乗り、嬉しそうに笑顔になった子ども達を送り出していました。その保育士さん達の姿は嬉しい事に今も変わりありません。保育園が皆の心の拠りどころとなり、幸せな記憶と共に辛いとき嬉しいときに訪ねたい場所になっているのだと思います。そのおかげか、当園には卒園児の子ども達が多く在園し、卒園児も職員として帰って来てくれています。

いつでも戻って来られる場所、いつでも受け入れてくれる場所、愛された記憶、大切にされた時間、それが保育園の中にあるのだとしたら、これほど嬉しい事はありません。心の土台を築く大切な時期を過ごす保育園だからこそ、自分が大切な存在だと感じられる場所であって欲しいと思います。

9月にニューヨークで行われた国連総会で、KPOPグループのBTSが若者代表としてスピーチしたのをご覧になった方もいらっしゃると思います。実は彼らは4年程前からUNICEFと共に、「LOVE MYSELF」というキャンペーンも行っています。彼らは「誰かから受け取った愛が、自分自身を愛する力になることを多くの人に感じてもらえたらと思います」と語っています。韓国も日本と共に若者の自己肯定感が低い国と言われている事もあるでしょうし、世界的にも子どもへの暴力、虐待やいじめが問題になる中、自分を愛し大切にすることは自尊心と幸福感を高めるうえでとても重要と言えます。愛され大切にされることで、自分を愛し、自分が大切な存在だと気づき、他の人の事も大切に出来るのだと改めて感じました。その大切な役割の一端を担える保育園という職場に居られる事を誇りに思うとともに、その重要性に身の引き締まる思いがします。

この稿は12月号に掲載と聞いております（書いているのは10月です）。世間で懸念されているコロナの第6波はどうなっているのでしょうか。コロナ以外にも「子ども庁創設」「ギガスクール構想」等、子ども達を取り巻く環境の変化のスピードは速くなる一方の様な気がします。リアルよりもバーチャルの時代も近づいています。どの変化も子ども達に寄り添ったものであるように祈っています。そしてどんなに世の中が変化しても、子ども達が「LOVE MYSELF」でいられるよう愛を注いでいけたらと思います。地域に寄り添い共に長い時間かけて成長してきた、民間保育園だからこそ出来る事だとも自負しております。まだまだ「路」半ばな私ですが、会員園の皆様と共に「大切にしたいこと」を大切に精進していきたいと思っております。